

ニーズ整理の記入についての工夫

- アセスメントでは、できることとできないことをチェックしているうちに、本人の全体像がぼやけてしまうことがある。⇒アセスメントを100字程度で要約してみる。
- 本人の意向等のニーズを、一つひとつ整理しながらも、支援課題を全体的に整理する。
- 本人の能力、家族、インフォーマルな支援等の状況等は、利用者の状況、環境の状況に整理する。
- 支援者の気になることや推測できることには、ご本人の強さ、可能性、揺れ具合も含めた見立てとして整理する。
- 支援者の見立てのうえで、ご本人の希望に即した支援を行うためには、もう一度、本人の全体像を確認する。⇒「〇〇さんって、どんな人」ということを、100字程度でまとめてみる(箇条書きでも可)。
- 本人の全体像をふまえて、ご本人の希望に即した支援を行うためにニーズを整理する。
- 本人の整理されたニーズから目標を導き出し、それが、なぜご本人にとって大切なのかを明らかにする。

100文字要約（例）

①**ぼくは**入院して10年目。日常家事はうまくできないけど、退所後はお金を自由に使ったり、人を気にせず自分のペースで生活したいので、アパートで一人暮らししたい。でも保証人もいないし・・・それにどんな一人暮らしになるのかなあ？（109字、精神障害、統合失調症のある人）

②**私は**病院や施設に入らずに、自宅で介助者のサポートを受けながら生活していきたい。でもこのままだと夫の体調やお金の負担も心配・・・だれか私を介助してくれる人が来てくれないかしら・・・。（89字、身体障害、肢体不自由のある人）

③**ぼくは**今の家で暮らしながら、そのうち作業所でなくちゃんと働きたい。だけど話の理解も作業も遅いし、皆にはついていけずちょっと不安もある。また体調不良の母親もいるし、何かとうるさい兄もいてどうしていいか困っているんだ。（109字、知的障害のある人）

神奈川県相談支援従事者初任者研修 駒澤大学佐藤光正先生の資料より引用